

運営理事会紹介

大学同好会カテゴリーで唯一の日本サッカー協会(JFA)公認大会として、全ての選手が目指す大会となっている「アットホームカップ インディペンデンスリーグ[同好会]」。大会を統括する運営理事会は大学生のみで構成され、予選となる各大学の学内戦と、それを勝ち上がったチームが参加する本大会の運営を担っている。毎月の会議を含め年間を通じて活動をし、様々な企業の方と接する機会も多い為、ある種長い期間のインターン的要素も持ち合わせた運営理事会の活動となっている。

2018年の運営理事会は大学のサッカーサークルに所属しているプレーヤー12人、マネージャー13人、合計25人で各委員会に分かれて活動している。



インタビュー



理事 田中 智大
(中央大学 サッカー同好会 3年)

—アットホームカップ インディペンデンスリーグ[同好会]とはどんな大会ですか?
同好会カテゴリーにおける唯一のJFA公認の大会です。同好会カテゴリーでは体育会とは異なり指導者のいない環境で、学生達が勝つ為、また最高のチームを作り上げる為にチームに何が足りないのか、何が必要であるのか等の問題・課題に対し、自らが主体的に日々考え、向き合い、実践し、クリアしていきます。そしてその取り組みこそが人生における財産であると思います。私はそんな素晴らしい同好会カテゴリーの社会的な認知度や現状の地位について、まだまだ計り知れない伸び代があると考えています。

—運営理事会はどのような組織ですか?

私達はJFA公認であるアットホームカップという唯一無二である大会を通して、同好会カテゴリーに対する認知度・地位の向上を目指し活動しています。年間を通して学生主体で大会を企画・運営していく事で苦難は数多くありますが、それを理事会メンバーで乗り越えていく事で得られる充足感は何事にも代え難いものです。運営あり笑いあり涙あり、みんな本気だからこそ互いに刺激し合い成長し合える。そんな理事会でみんなあなたを待っています。



広報委員長 小口 瑞乃
(早稲田大学 稲穂キッカーズ 3年)

—広報委員会はどんな仕事をしているのですか?

広報委員では、同好会カテゴリーにおいて唯一JFAから公認されているアットホームカップの認知度拡大、地位向上を1番の目的として活動しています。学内戦や本大会でのSNSを使った広報活動はもちろん、理事会全体で行うイベントを企画して大会を盛り上げるなど、活動の幅は無限に広がられます。メンバーは違ったサークルに所属していますがみんな仲が良く、仕事はきっちりと且つ和気藹々とした雰囲気です。ぜひ理事会メンバーとして、同好会カテゴリーと一緒に盛り上げましょう!

年間スケジュール

月	活動の流れ
12月	前年度理事会から引き継ぎ
1月	顔合わせオリエンテーション(委員決め) 学内戦 運営開始
2月	各委員会に分かれ活動開始
3月	規約・競技規則について再確認
7月	組合せ抽選会に向けた打ち合わせ
8月	組合せ抽選会(JFAハウス)
9月	本大会に向けた最終準備
10月	アットホームカップ本大会
11月	アットホームカップ決勝戦/年間の振り返り
12月	来年度理事会への引き継ぎ

2018年度理事会メンバー所属大学・チーム

青山学院大学 理工サッカー部
慶應義塾大学 慶應キッカーズ
國學院大学 FC ROSSO
成蹊大学 アースエラスティックサッカー
成蹊大学 SFC
専修大学 Pink Monkeys
中央大学 サッカー同好会
法政大学 学団連サッカー部
明治大学 Groovykids
明治学院大学 白金FC
早稲田大学 稲穂キッカーズ
早稲田大学 理工サッカー部
早稲田大学 HUMAN FC
立教大学 サッカー愛好会

**2019年
運営理事会
の募集**

2019年度に運営理事会メンバーとして活動してみたいメンバーを募集しています。興味のある方は、アットホームカップHPをご覧ください。
お問い合わせは、athomecup@gmail.comまでSNSのDMでもお待ちしております!



アットホームカップ

検索



@athomecup

New!!